



はくさん
白山神輿



さかたる
酒垂神輿



選ばれし男たちだけが 「荒ぶる神」に近づける

宇出津・あばれ祭の

『あばれ神輿』



写真右上：梶川橋に神輿を叩きつける

写真左上：入り宮をして御神酒を神輿にかけ責任者。中央にはレンガクが見える。大暴れの後の静寂な瞬間

写真下：八坂神社境内で最後の大暴れ。燃えさかる炎を物ともせず、神輿と一体となる

チョウウサー / チョウウサー /

ために…

あばれ祭2日目は酒垂・白山の八坂神社に向けて渡御します。神輿は海や川、火の中に投げ込まれたり、地面にたたきつけたりと神輿が壊れるほどの大暴れをします。神輿が大暴れをする理由は、八坂神社の祭神である牛頭天王（須佐之男命の化身とされている荒ぶる神で京都の祇園社に祀られている）を呼び寄せ、より神様に近づき、神様を喜ばせて、慰められる唯一のことだと考えられているからです。あばれ神輿は、責任者2人が紫色、担ぎ手が黄色のたすきをかけます。このたすきは、担ぎ手として認められる選ばれた男たちだけに許されず。担ぎ手は、八坂神社に入り宮するまで、神様の存在を周りに知らしめる掛け声を猛々しく連呼し暴れ尽くします。神に感謝し、神に近づぐために…

※参考文献

「能登半島宇出津のキリコ祭り」小倉 学 / 著

「能登半島宇出津のあばれ祭問答」数馬 公 / 著

写真右上：八坂神社境内の置き松明で「火あぶり」される神輿

写真左上：梶川上流の柱松明に神輿をぶつける。燃えさかる火の粉が担ぎ手に降りかかる

写真下：梶川に投げ込まれた神輿は水面に落とされたり回されたりと大暴れする

キリコは神輿の渡御の際のあとさきにお供し、神輿をお守りした「レンガク（竹などに刺した箱形の小さなアンドン）」が発展したものと考えられています。あばれ祭は、一般のキリコ祭りのようにキリコが主役ではなく、あくまで「神様（神輿）」が主役で、キリコは神輿の渡御のお供をする脇役という本来の形を現在も守り続けています。

宇出津・八坂神社の祭礼「あばれ祭」は7月1日・2日に行われました。古くは「カンノジの祭」「八坂祭」と呼ばれ、戦後に入り「いやさか祭」とも言われました。現在の「あばれ祭」と呼ばれるようになったのは昭和30年頃からで、その名のとおり神輿が大暴れることに由来します。

能登町 夏の2大イベント 開催決定!!

- ☆町内のキリコ大集合 (午前9時~)
- ☆柳田中吹奏楽部演奏 (午前11時30分~)
- ☆ウルトラマンキャラクターショー
 - ・第1部 正午~
 - ・第2部 午後2時30分~
- ☆よさこい演舞 (午後3時30分~)
- ☆歌謡ショー (午後4時30分~)
- ☆キリコ太鼓 (午後7時~)
- ☆踊りの夕べ (午後8時~)
- ☆花火の祭典 (午後9時~)

ふさと祭り

8月20日(土) 柳田植物公園

ふさと祭り

菅原洋一

兵庫県出身。1967年に「知りたくないの」がヒット。同年にNHK紅白歌合戦出場。「誰もいない」「今日でお別れ」など代表曲多数。シルビアとのデュエットによる「アマン」も。シャンソンをはじめ、幅広いジャンルの音楽に取り組み、甘い歌声とともに国民的な人気歌手となった。今年、円熟味を増した歌声を堪能していただく「ニュークラシカルコンサート」が好評を博している。



浅田あきら

穴水町出身で金沢市在住。平成14年に「故郷あかり」翌年に「望郷の酒」を発売。今年4月に石川県立音楽堂でソロコンサートを行い大成功。今後はキャンペーンやラジオで全国展開を予定。



シルビア

大阪府出身。1979年、「別れても好きな人」でデビュー。1982年菅原洋一とのデュエット「アマン」で紅白歌合戦出場。現在テレビやラジオで活躍中。



沢田美紀

富山県出身。キャッチコピーは「となりのきれいなお姉さん」。透明感にあふれた伸びやかな歌声が特徴。北陸3県のコミュニティFMで「沢田美紀の北陸大好き」放送中。

- 《催し物》
- ★ストリートバスケット大会 (午後1時30分~4時)
 - ★模擬店 (午後4時~9時)
 - ★地元芸能 (午後6時~6時45分)
 - ・能登内浦豊年太鼓
 - ・YAMABIKO柳星乱舞隊
 - ・大柵木獅子舞
 - ★しおさいコンサート(無料) (午後7時~8時30分)
 - ★花火大会 (午後8時30分~9時)

8月14日(日)

内浦総合運動公園

しおさい広場

子どもたちの声が響く空間

「まつなみキッズセンター」編

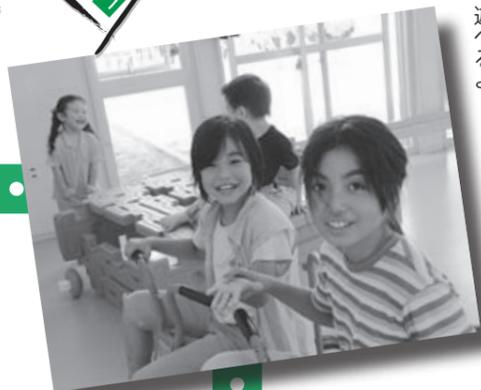
- 開館 午前10時～午後6時
- 休館日 日曜日・月曜日・年末年始（お盆休み 8/14～16）
- 住所 松波 13-50-2
- 問い合わせ ☎ 72-0269

ガーゴ（み）
特技は誰とでも
なかよくなれる
コト！

能登町 いいところ めぐり Vol.3



キッズセンターに遊びに行こう！



ホールにはうんていやのぼり棒
小さい自転車や他にもカラフルな
遊具がたくさんあるよ。窓の外に
は砂場もあるし、みんなで仲良く
遊べるよ！

今回はまつなみキッズセンターを紹介するよ。子どもたちだけでも、保護者の方でも、誰でも無料で遊びに来ることができるんだよ。本の読み聞かせやお話会、ミニお茶会やクラフト教室などなど、毎月いろいろなレクリエーションが催されているよ！



今日は
検診なんだよ～

ホールの他にもみんなで使える教室が2つあるんだよ。この日は3歳児検診の会場になっていたよ。



ねえ
お話を聞かせて
あげようよ

ボクって
何センチ？

ここにはたくさん
の本やおもちゃ
があるんだよ。ビデオコーナー
もあるんだよ！

「キッズセンター」職員のおふたりにお話を聞きました！

田中佐智子さん
Q、キッズセンターでの子どもたちの様子はどうですか？

「子どもたちはとても元気ですね。さまざまな行事を通して一緒に過ごしていると、自分もパワーをもらえるような気がします」

桑村和代さん
Q、この施設のいいところは？

「近所にお友だちが少なくても、ここに来れば子ども同士、色んな体験をすることができます。どなたでも気軽に利用できますから、一度遊びに来てみてください」

かこの取材後記

いつも職員の人から、お褒めの人をもらって、キッズセンターに行くと、お話を聞かせてもらえる。学校にいると、他の児童のことも、だいたい遊んで、いろいろの体験もできるし、平田ワニ子所長さんが、ボクに、この施設は子どもたちの大切な居場所なんだよ、と。そして、たけと、本当に、お話を聞かせてくれて、楽しそうなんだよ。まつなみキッズセンターは、土曜日も夕方6時まであるし、毎月季節にあわせた行事もやっているから、みんなも一度、あそびに来てね。

自然豊かな能登町のシンボルとして 能登海洋深層水施設が完成！



8月1日
オープン！

海洋深層水は、新しい水産資源として平成12年から研究が重ねられてきました。平成16年9月の取水施設整備に続き、いよいよ今年1日「能登海洋深層水施設」が小木新港にオープンしました。

この施設は、県内唯一の海洋深層水供給施設で、1日に最大約40トンの原水を加工することができます。

展示室では飲料水として脱塩した深層水の自動販売機も設置されています。また、原水、濃縮水、脱塩水、深層水から作った塩の販売も行います。

能登町の新しい味をぜひ一度おためしください。



10月31日までのキャンペーン！

下記の日程で深層水を無料でお分けします。皆さんのいろいろなアイデアで深層水を楽しんでください。

- 期間 8月1日(月)～10月31日(月)
- 対象 能登町内に住所または事業所を有する個人または団体
- 内容 海洋深層水の原水、脱塩水、濃縮水を、1日1人20ℓに限り無料で提供します

※容器などは各自で用意してください



「Noto Deep Water」ってなに？

海洋深層水とは、一般的に水深200mより深いところにある海水のことを指します。能登町が取水する能登海洋深層水とは、日本海固有水と言われ、日本海内で循環している深層水で、小木港沖南南東3.7km、水深約320mから取水しています。特徴としては、海面付近の海水と比べ、「清浄性」「富栄養性」「熟成性」「ミネラル特性」「低温安定性」などが優れています。このような特徴を持つことから、農業、水産、食品、飲料、化粧品や医薬品など多くの分野での利用が期待されています。

■定休日 月曜日
■営業時間 午前9時～午後5時
■問い合わせ
能登海洋深層水施設
小木34字15番地
☎ 7411233
☎ 7212506

◆商品紹介

- ・深層水原水 200ℓ 100円
- ・深層水脱塩水 10ℓ 100円
- ・深層水濃縮水 10ℓ 100円
- ・深層水飲料水 2ℓ 100円
- ・塩 1kg 5,000円



購入は引換券で



能登の翼をみんなでも守ろう！！
能登空港利用促進同盟会
企画財政課
☎0768-26-2366
☎62-8503

能登空港は7月7日に開港3年目を迎えました。

2年目も年間搭乗率は目標を上回り、64・5%（速報値）でした。1年目に比べると冬場の落ち込みは若干解消し、年間の旅客数は約4500人増加しましたが、4月の搭乗率は開港以来最低の50・3%を記録するなど、春先にかけて搭乗率が急降下しました。

3年目の目標搭乗率は64%です。3年目は2年目にも増して厳しいものが予想されていますが、能登ー羽田便は4月から飛行機の変更により、オーディオプログラムが聞けるようになり、座席幅が広がるなど、より快適な空の時間を楽しめるようになりまし。

天気の良い日には、空から九十九湾や遠島山公園、植物公園なども見ることが出来ます。見慣れた風景も空から見ると新たな発見があるかもしれません。みなさんの更なるご利用で能登の翼を守りましょう。

能登空港ウイング・ネットワーク 会員募集中！

能登空港に対する熱い思いで能登空港をみなさんで応援していく会員組織「能登空港ウイング・ネットワーク」の会員を募集しています。

《会員特典》

能登空港レストランでの割引、能登空港売店での買い物で粗品進呈、有楽町能登ふるさと館での割引など

■会費 個人・年間 1000円
法人・年間10000円

■会員事業

①会員特別企画旅行

②会報誌「能登空港だより」の発行など

■入会手続 入会申込書兼振込用紙に必要事項を記入のうえ、年会費を最寄りの指定金融機関または郵便局からお振込みください。（申込書は企画財政課にあります）

※平成17年8月31日までにご入会いただいた方の中から抽選で、3組6名様に能登空港発着1泊2日の旅が当たるキャンペーンを実施しています。

〈問い合わせ〉能登空港利用促進同盟会または企画財政課

助役に山元淳二氏 収入役に新谷久守氏が就任しました



山元淳二（62歳・九里川尻）
旧内浦町職員として、企画観光課長、総務課長を経て、平成14年11月に教育長、平成15年10月からは助役を歴任

能登町初の助役に就任させていただくことになり、微力ではありますが、お役に立てるよう努力していく所存でございます。能登町民が夢と希望の持てる新しいまちづくりのため、持木町長が掲げている5つの基本政策の実現を押し進めることは、住民皆さんの幸せに通じるものと信じております。

皆さんもどしどし提言をお願いしますとともに私なりの意見も提言し、町政の発展に努力する所存でございますので、各位の特段のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



新谷久守（59歳・笹川）
旧柳田村職員として、環境衛生課長、住民福祉課長、総務課長などを歴任

この度、収入役に就任いたしましたこと、身にあまる光栄に存じます一方、責任の重大さには思いをいたし、身がひきしまる気持ちがあります。浅学非才ではありますが、与えられた業務を、情熱・謙虚・誠実をモットーに誠心誠意全うする所存でございます。

町財政が大変厳しい中で、町の資金運用・管理について万全を期し、町民の皆さまのご期待に添うべく努力いたす覚悟でございますので、各位の特段のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

春の叙勲で能登町から3人が瑞宝単光章を受章

南山邦雄さん（72歳・小木）
南山さんは、昭和30年7月に小木町消防団に入団し、昭和56年から小木分団長、平成元年からは内浦町消防団副団長として、42年間に渡り地域の防災に貢献されました。
昭和36年2月の小木小学校の火災や昭和62年5月の福光地内の山林火災などの災害出動においては、的確な判断力と行動力で、被害を最小限に食い止め、他の団員から絶大な信頼を受けました。



吉田清美さん（60歳・国重）
吉田さんは、昭和44年8月から公立宇出津総合病院の看護師として、平成元年からは総看護師長として地域医療の発展に尽力されました。
「40年間、自分の心に誠実に仕事をしてきました。常に患者さんの不安な気持ちを理解して、精神的なケアができるよう心がけ、また師長になってからは、安全な医療が提供できるようにといつも考えていました」と看護師生活を振り返っていました。



福島洋子さん（64歳・崎山）
福島さんは、昭和51年から26年間、鳳寿荘の寮母として高齢者の福祉向上に貢献されました。
「変則的な勤務の中、家族の支えがあって務めることが出来ました」と家族の協力に感謝し、「人とのふれあいが好きなので、今でもお世話をした方に会いに行きたいと思うことがあります。受章したことが、一生懸命がんばっている後輩の励みとなってくれればうれしいです」と受章の喜びを話してくれました。





大好きなふるさとを守るため
仕事を抱えながら訓練を重ねてきた

能登町消防団訓練大会

— 6月25日・内浦総合運動公園 —

《総合の部》

- 優勝 松波分団
- 第2位 柳田分団
- 第3位 三波分団

《ポンプ車操法の部》

- 優勝 三波分団
- 第2位 松波分団
- 第3位 神野分団



《小型ポンプ車操法の部》

- 優勝 松波分団
- 第2位 柳田分団
- 第3位 上町分団

《小隊訓練の部》

- 優勝 柳田分団
- 第2位 小間生分団
- 第3位 上町分団



消防団に参加しよう！

消防団は本業を持ちながら地域の安全と安心を守るために活躍している人たちが集まる、町の消防機関の一つです。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神のもと、消防団活動に参加しませんか？

詳しくは消防署（☎ 62-0492）までお問い合わせください。

平成17年度 納税貯蓄組合 表彰式



206の納税組合で 連合会を設立 功労者27人が表彰を受ける

6月29日、役場能都庁舎において、能登町納税貯蓄組合連合会の設立総会と納税貯蓄組合表彰式が行われました。

総会では、206の組合で組織する能登町納税貯蓄組合連合会の規約が承認され、役員が選出されました。役員には、会長に武淵一男さん（三田）、副会長に久保三三さん（北河内）、勝尾信一さん（庄崎第二）、その他に理事10人と監事2人が選任されました。

引き続き、納税貯蓄組合表彰式が行われ、長年納税業務に功績のあった功労者27人が表彰を受けました。表彰に先立ち、持木町長は「長年の功績に感謝するとともに、町の貴重な自主財源である税の収入に今後ともご協力いただきたい」と式辞を述べました。

表彰を受けられた方は次のみさんです。

◆能登町長表彰

- 下岩屋町 小西和夫
- 新村本町 寺下幸弘

◆輪島地区納税貯蓄組合連合会長表彰

- 新村浜町 小浦紀男
- 音羽町 山本恒延
- 宇加塚 保田祐弘
- 三田 武淵一男
- 久田第四 谷中孝俊
- 上西 倉谷久造
- 庄崎第二 勝尾信一
- 上出町 河田俊雄

◆奥能登地方納税貯蓄組合連合会長表彰

- 内浦長尾第二 大屋弘明
- 曾又第一 川畑一政
- 野田 角谷重三
- 山口第一 堂間富男

◆輪島地区納税貯蓄組合連合会長表彰

- 矢波寺田組 山下芳雄
- 久田第一 中嶋宝善
- 明野 浜本留雄

◆能登町納税貯蓄組合連合会長表彰

- 小垣区 竹下栄寿
- 八の田 高井邦夫
- 十郎原 田中文夫
- 恋路 元平達雄
- 不動寺 新出吉弘
- 東町第一 牧幸代
- 下浜第二 番匠ふみ系
- 下市之瀬 西戸人志

能登町農業委員会 委員が決まる

公選委員

- ・井上 茂（58歳・瑞穂）
- ・田端 雄市（54歳・真脇）
- ・亀崎 政一（67歳・猪平）
- ・横地 政直（55歳・宇出津）
- ・高戸 政一（57歳・藤ノ瀬）
- ・吉田源兵衛（62歳・柳田）
- ・出村 進（56歳・笹川）
- ・渡瀬 進（71歳・当目）
- ・山岸 政盛（69歳・合鹿）
- ・東 久壹（67歳・上長尾）
- ・波瀬 義則（61歳・越坂）
- ・末次 芳幸（43歳・行延）
- ・西藤 義弘（67歳・恋路）
- ・川端 義雄（61歳・河ヶ谷）
- ・山岸 昇平（62歳・白丸）

選任委員

- ・水野 勉（69歳・黒川）
- ・松木 松雄（58歳・宮地）
- ・元谷 幸雄（65歳・布浦）
- ・平 信一（57歳・滝之坊）
- ・東崎 秀雄（62歳・宇加塚）
- ・福池 和廣（55歳・天坂）
- ・堺 善雄（71歳・白丸）

深層水トマトを給食で試食！



▶地元で生産し、地元で消費することを地産地消しているんだよ

海洋深層水トマトのおいしさを地元の児童に味わってもらおうと、7月8日にJA内浦から柳田小学校に海洋深層水トマトが提供され、児童らが試食をしました。

この日の献立には、サラダに海洋深層水トマトが入り、ゼリーには5年生が摘んだブルーベリーが入るなど能登町のおいしいものを味わう給食となりました。

児童らは、普通のトマトよりも甘いと評判の海洋深層水トマトをおいしそうに食べていました。

海洋深層水トマトの試食は、今後町内の全小学校で実施することになっています。

おいしい芋ができるかな？



▶汗だくになりながら一生懸命植える団員。秋の収穫が楽しみ！

スポーツ少年団能都支部の農業体験は6月19日に瑞穂地内の農場で行われ、団員、指導者、保護者など約320人がサツマイモの苗植えを体験しました。

この農業体験は、農作物を作る楽しみ、収穫の喜びをみんなで分かち合うことを目的に平成10年から毎年実施されています。

団員らは、農業青年会議のメンバーが用意したサツマイモの苗を手慣れた様子で植えていき、30分ほどで畑は苗で一杯になりました。

秋には収穫したサツマイモを焼き芋などにして食べる予定にしています。

満開の花菖蒲の中で「走る」「歌う」「踊る」



花菖蒲まつりが、6月25日・26日に柳田植物公園で行われました。園内の花菖蒲園(60種10万株)の開花時期に合わせて毎年行われているこのイベントは、今年で15回目を迎えました。

25日にはチビッコ駅伝が行われ、県内各地から33チーム165人のチビッコが参加しました。参加した子どもたちは、園内1周2kmのコースを5人で5周し、タイムを競いま

した。26日には、珠洲実業高校のマーチングバンドの演奏や、柳田出身の演歌歌手・植松達也さんの歌謡ステージ、和太鼓「鼓友」や日本航空学園ダンス部のダンスなどが行われ、観客を魅了しました。

また今年も、北国フォトクイーンによる花菖蒲フォトコンテストが実施され、たくさんカメラマンが訪れていました。

この日植物公園を訪れた人は、ステージ上の華やかな演出の数々に元気をもらい、色鮮やかに咲き誇る花菖蒲に心をいやされたことでしょう。



▲パワフルなダンスを披露した日本航空学園ダンス部



暑さに負けず、元気一杯に演奏した珠洲実業高校マーチングバンド▶

自分の進むべき道は？



▶牛にも慣れて頭をなでながら世話ができるように

町内の中学2年生が、職場での体験を通して、働くことの苦労や喜びを体験し、将来について考える「わくワーク体験」が今年も実施されています。

7月6日から8日にかけては、松波中学校の2年生43人が町内33カ所の企業や施設で職場体験をしました。地域の協力のもと、実際に職場を体験した生徒からは「お客さんと接することが楽しい」とか「想像以上に大変」という言葉も聞かれ、貴重な体験になったようでした。わくワーク体験はこのほかに、鶴川中と柳田中が7月下旬に、能都中が9月に、瑞穂中と小木中が10月に予定されています。

搭乗者 30 万人達成！



▶3年目にはずみをつける30万人突破

能登空港の搭乗者30万人を祝う記念セレモニーが6月21日に行われました。

昨年3月に10万人、10月に20万人を突破した定期便搭乗者数は、開港から716日目のこの日、午前の羽田行き748便で30万人を達成しました。

30万人目となったのは、神奈川県の上野俊夫さんと、電車で和倉温泉を訪れ、帰りに能登空港を利用したということです。能登空港利用促進同盟会の坂本会長から記念品を受け取り、くす玉を割った上野さんは、「空港で能登が近くなったと感じます。今度はゆっくり能登半島を1周したい」と喜んでいました。

活気ある町は女性が元気！



女性団体の元気がパワーに圧倒されました。女性団体の元気がパワーに圧倒されました。

婦人団体協議会のスポーツフェアが6月19日、能都体育館で行われました。合併後、新たに設立された能登町婦人団体協議会の交流を深めようと、各地区から約180人が参加しました。参加者は6つのチームに分かれてゲームを楽しんだあと、ジャザサイズを体験したり、全員でフォークダンスを踊ったりと爽やかな汗を流し、親睦を深めました。

見学した持木町長は「女性の明るく元気な力で町が活気づきます」と今後の婦人団体協議会の活躍に期待を寄せていました。

千葉県流山市と災害応援協定



千葉県流山市と能登町の災害応援協定調印式が7月8日、役場能都庁舎で行われました。

すぐれた能登杜氏を生み出す地として知られる旧内浦町出身者が流山市の酒造会社を支援したことで始まった交流がきっかけで、今回災害応援協定が申し込まれ、協定を結ぶことになりました。この協定には災害発生時に独自で対策を実施できない場合の応援を円滑にするための基本事項が定められています。

持木町長と井崎流山市長は、今後は災害時だけでなく、さまざまな交流を広げていきたいと固い握手を交わしました。

おじいちゃん、おばあちゃん今日は七夕だよ！



7月7日、内浦保育所の園児20人が第二長寿園を訪れ、お年寄りと一緒に七夕行事を楽しみました。

園児とお年寄りが、一緒に笹飾りを付けたあと、園児が「きらきら星」などの歌を手話を交えて歌ったり、踊ったりしました。

「元気に長生きしてね」と手作りの彦星をお年寄り一人ひとりに手渡した園児は、お年寄りの代表から「また遊びに来てね」とプレゼントをもらい、楽しく交流をしていました。

▲おばあちゃんの願い事は何？



お年寄りを前に手話で歌を表現する園児ら▶

摘みたてのブルーベリーの味は？



◀このブルーベリー大きいよ！

町の特産品のひとつ「ブルーベリー」の摘みとりを上町保育所の園児が7月13日に体験しました。

この日は、柳田食産が運営する植物公園横のブルーベリーガーデンを訪れ、紫色に熟したブルーベリーを摘み取りました。

園児は、おいしそうなブルーベリーを選んで摘み、一つ一つ口に運んで「おいしい」と喜んで、たくさん食べていました。

ブルーベリーの摘みとり体験は、町内各保育所の園児も体験しました。能登町自慢の特産品の魅力を体で感じる経験ができたことでしょう。

地域で元気に暮らしたい！



◀「曾々木かもめ座」による歌や踊り、劇も披露されました

ひとり暮らし高齢者なごやかサロンが7月5日、能登やなぎだ荘で開催されました。

このサロンは、ひとり暮らしの高齢者を元気づけようと能登町社会福祉協議会柳田支所と民生委員児童委員協議会柳田支部が、柳田地区の65歳以上のひとり暮らしの方々を対象に呼びかけたもので、約100人の方が参加しました。

各地区から集まった参加者は、ゲームなどを楽しみ、久しぶりに交流を深めました。また、会食や温泉入浴、保健師や看護師による健康相談なども行われ、一日中笑いの絶えない楽しい時間を過ごしました。

サークル活動で広がる交流！



▶柳田公民館「治寿々会」のみなさん

能登町公民館交流会が7月7日、柳田山村開発センターで開催されました。この交流会は各公民館で行われているサークル活動などを発表して、親睦を深めることを目的として企画されました。

町内5つの公民館から参加した各サークルのメンバーは、日ごろの活動内容を紹介したり、ダンスや歌、三味線などを披露し、訪れた観客を楽しませていました。

前回、宇出津公民館で歴史をテーマに開催された交流会が大変好評だったため、会場を柳田地区に移し、2回目の開催が実現しました。今後は内浦地区での開催も予定されているそうです。町民の皆さんに公民館活動をもっと身近に感じてもらえるといいですね。



◀松波公民館「三味線教室」の発表での一幕